

7月の 園だより

ひよこと
あひるのこ

25年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

嬉しいことに、またとても貴重なお便りをいただきました。子育てを深く考えていらっしゃることが伝わってきます。

「私は、S子が生まれた時から出来る限り自由に遊ばせ、とこどん要求に応えてきたのですしかし、体力的精神的に限界がありだんだんと子育てを楽しめなくなっていました。

「甘えさせる」ことが大事だと自分も思っています。しかし活発な子、繊細な子の時はおやが子どもに付き合いすぎて疲れる、どこまでやればいいのか分からない、という事態になりやすいのではないでしょか、親は子どもを愛し、守る存在ではありますが、同時に親にも「考え方・思い・事情」があるということ、一緒に生活をするパートナーなんだということは、ある程度子どもに伝えないといけないなと思います。園長先生のお話し会で「だっこ～」「食べさせて～」は応じてあげましょう。という話があったのですが、それはその通り「甘えたいよ」のサインだから応じても自立の妨げにならないのでしょうかけれど・・・。一方でそういったグズグズに親がいつまでもダラダラと付き合っているのはなんだか子どもにとってよくないのでは・・もっとお互いに「さわやかな関係」でいられたらいいのにと思う事があるのです、子どもの甘えを拒否するのではなく、受け止めながらも、「お母さんはこういう気持ちだよ」「こういう状況だからちょっと難しいな・・」と子どもと一緒に考えてお互いになっとくできるかいつけをするというのも必要な手法かなと思います。」

親子関係の在り方を考え、親子の関係作りをされているSちゃんのお母さんですね。「お互いにさわやかな関係を」というお考えは、親が権威をもって子どもに相対するという関係ではなくて、親と子がお互いを尊重しあって、そして、お互いの立場を思いやって生活するということなのではないかと推察しています。大人は子どもの立場に立つことを忘れてしまいがちなのですが、子どもの思いをしっかりと受け止めて、そして、大人の願い（こうなれるといいね）を伝えていくことは重要ですね。

甘えを受け止めて、受け止めているのに、一体いつまで？という状態になってしまい・・こういうことはお子さんの個性によって違いが出てきます。一度自立してできるようになったのに、この頃「やって」という言葉が増えたな、という場合はやってあげているうちに自然と消えていくのですが、幼い時から、ずっとしてあげているのに、いつまで？という場合は、親子の間で、押したり引いたりしていくことが必要になりますね、親の願い「こうできるといいね」を伝え、子どもと一緒に困ったり考えたりしていくということは大切です。子どものいうことをすべて聞いてあげることが、いいことではないですね

「子どもが主、親が従」という状態にならないようにしなければなりません。親として、受け入れられないことには凛とした姿勢で「あなたはそれがやりたいのね、（と受け止めて、それから）でも、今はそれは出来ないの」と言うことは必要です。Sちゃんのお母さんがおっしゃるように、子どもを「共に生きる者」として尊重していきたいですね・・



25年7月の予定

日	曜	給食	降園時間	行 事
1	月	○	2:00	個人懇談
2	火	○	2:00	個人懇談
3	水	○	2:00	じゃがいも掘りに出かけます。（雨天の場合は8日）
4	木	○	2:00	
5	金	○	2:00	
6	土	/	/	公開講座のため、自由登園はお休みです。
7	日	/	/	
8	月	○	2:00	
9	火	○	2:00	
10	水	×	11:30	誕生会です。7月生まれさんの保護者の方、ご一緒に祝いしましょう。
11	木	○	2:00	
12	金	○	2:00	
13	土	/	/	第2土曜日
14	日	/	/	
15	月	/	/	海の日
16	火	○	2:00	
17	水	×	11:30	誕生会です。8月生まれさんの保護者の方、ご一緒に祝いしましょう。
18	木	○	2:00	
19	金	○	2:00	
20	土	/	/	第4土曜日振替休日
21	日	/	/	
22	月	○	2:00	
23	火	×	11:30	午前保育です。降園時間が早くなります。
24	水	×	11:30	午前保育です。降園時間が早くなります。
25	木	×	11:30	第1学期終業式です。
26	金	/	/	青ばらさん夏のお楽しみ会です。赤ばら白ばらさんはお休みです。
27	土	/	/	卒園児さんの同窓会が行われます。
28	日	/	/	-
29	月	/	/	夏休みに入ります。星の子は行います。
30	火	/	/	お仕事をお持ちの皆様どうぞご利用下さい。
31	水	/	/	